

公益社団法人マナーキッズプロジェクト台湾支部設立趣意書

日本では、子供・若者の状況がおかしいと、多くの人が感じるようになって、ずいぶん時間がたつとのことです。

人間としての基本的なマナーやルールに欠ける。私的空間と公的空間のけじめ感覚を持ち合わせない。傷つくのが怖いから他人と深く交わろうとしない。学びを含めて何事にも意欲がわからない。その上、体力や運動能力の面でもひ弱になった。そんな子供が増えつつあることを様々なデータは示しております。

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、日本のこのような子供・若者状況の是正に向けて、その一助になることを設立の趣旨に据えておられます。具体的には、スポーツ・文化活動に親しみながら、日本の伝統的な礼法を体験します。そして、マナーやルールを守り、物を大切にする気持ちを養います。保護者に対しても、家庭におけるマナーのしつけ方などを講習することによって、挨拶や礼儀作法などを習得して「体」「徳」「知」のバランスの取れた人材育成に寄与したいと考えておられます。

1996年12月開始の早稲田大学庭球部小学生テニス教室が原点とのことです。その後、2005年4月公益財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクト、2007年6月NPO法人マナーキッズプロジェクト、2015年10月公益社団法人マナーキッズプロジェクトに移行されました。今までに、47都道府県において、22万人を超える幼稚園・保育園園児、小学校児童が参加しています。また、37都道府県、394小学校他の授業に採用されています。

マナーキッズプロジェクトは、本年4月に台湾を訪問され、マナーキッズ活動に対するニーズがあるかどうか事前調査を実施されました。我々としても、台湾においても、日本の子供達と同じような傾向があると憂いておりますので、今般、マナーキッズプロジェクト台湾支部を設立し、マナーキッズ活動を台湾において積極的に展開していきたいと考えます。幼児・児童の段階から日台間の交流を進めることにも大きな意義があります。

台湾支部の活動が一層幅広い日台友好親善につながることを心から念願しております。台湾における開催計画案、支部結成概要書は別紙の通りです。

マナーキッズプロジェクト台湾支部設立の趣旨にご賛同賜りたくお願い申し上げます。

2017年9月

公益社団法人マナーキッズプロジェクト台湾支部設立発起人

中華民国網球協會理事 劉 玉蘭

前 ITF、ATP 國際網球審判長 賴 春林

養和会硬網隊領隊 向井和夫

STC (Sunday Tennis Club) 代表 浅井克裕

公益社団法人マナーキッズプロジェクト理事長 田中日出男